

中山光平  
議員  
市民の会



## ○ 情報伝達機能の強化案

**問** 新型コロナウイルスの対応で伝えるべき情報が溢れる中、従来の広報紙では情報伝達が遅く、ホームページでは市民が情報を取りに行く必要がある。

**答** 市ではLINE公式アカウントの立ち上げ準備を



※福岡市ホームページより一例を抜粋

行い、サービスを提供するためのシステム研究を行っている。  
 ーT投資の効果を高めるため、一体的なシステム企画を適切に行い、引き続き導入について検討していく。

今後はーTを利用、消費するだけでなく、ーT関係の人材育成と働く場づくり、ーT商品の生産・販売までを強く意識してーT化を推進することが肝要であると考えている。

下牧一郎  
議員  
新風会・公明



## ○ 平泉寺及び周辺観光資源のこれからのについて

**問** 市長は市政20年間で一貫して平泉寺に力を注いでこられ、今の平泉寺が出来上がった。もちろん、平泉寺町民のなみなみならぬ「平泉寺愛」が市長の心を動かし、行政を動かしてきたことは言うまでもない。

**答** 勝山市は、1億年前の恐竜に始まり、7000年前の三室山縄文遺跡、中世の白山平泉寺、江戸時代末期の旧木下家、大正時代の霧困気が残るえちぜん鉄道勝山駅舎や花月楼、機やの歴史を伝える「ゆめおーれ勝山」など、どれも本物の遺産に触れ、悠久の歴史に

浸ることができるところから、ジャーナリストの三神万里子氏に「勝山市はタイムマシンのような町だ」と言われたことがある。

その中で白山平泉寺は特異的な光を放ち、多くの人を引き付け、その人気は年々高まっている。この境内が、遙か昔から素晴らしい状況を維持保全してこられたのは、議員が言われる平泉寺町民の「平泉寺愛」によるものであると感じている。

約200haの平泉寺遺跡は、その1%を発掘調査するのに30年かかっている。全て完了するには何百年とかかる大事業だが、今後の発掘調査で往時の隆盛をしのぶことができる日が来ることを心待ちにしている。

平泉寺周辺には、越前大仏や勝山城博物館が位置している。勝山ニューホテルに宿泊し、これら3箇所を回る滞在型観光コースを売り出す工夫が必要だと考える。次期市政にしっかりと引き継いでいきたい。